

第 32 回東日本選手権兼第 32 回東北軟式野球選手権秋田県大会実施要項

1. 主 催 秋田県軟式野球連盟
2. 主 管 秋田県軟式野球連盟 仙北支部
3. 後 援 秋田県 仙北市 仙北市教育委員会 仙北市スポーツ協会 (株)秋田魁新報社
4. 会 期 令和 6 年 8 月 3 1 日 (土) ~ 9 月 1 日 (日) 原則雨天順延
5. 会 場 仙北市「落合野球場」「生保内公園野球場」
6. 出場チーム 第 1 区(鹿角、大館、北秋田) 第 2 区(能代、山本) 第 3 区(男鹿、南秋田、潟上)
第 4 区(秋田) 第 5 区(本荘由利) 第 6 区(大仙美郷、仙北) 第 7 区(横手) 第 8 区
(湯沢雄勝)
各区代表の 8 チームと、開催地支部推薦の希望があればこれを加える。
7. 出場資格 (1) 全日本軟式野球連盟規程第 6 条第 1 項、第 2 項の一般登録チームであること。
(2) 所属地区別の予選を経て、かつ所属支部長の推薦を受けたチームであること。
(3) 1 チームのメンバーは、監督、主将を含め 10 名以上 25 名以内とする。
(4) ベンチ定員は上記(3)の他にチーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー
(有資格者)の各 1 名とする。
8. 適用規則 最新年度公認野球規則、2024 年度版競技者必携、全日本軟式野球連盟諸規程および別に定める特別規則を適用する。
9. 使用球 全日本軟式野球連盟公認球 (トップ) M号を使用する。
10. 参加申込 出場資格を得たチームは、秋田県軟式野球連盟HPより参加申込書をダウンロードして
申込書に正確に記入し、所属支部を経て秋田県軟式野球連盟へ E-Mail にて 8 月 20 日(火)
までに提出すること。
(1) E-Mail : kzys1216@cna.ne.jp
(2) 大会準備、プログラム作成等の関係上申込期日を厳守のこと。
(3) 監督・主将、以下その他の選手は背番号の若い順に記入すること。
(4) 参加申込書提出後は、選手の追加、変更および背番号の変更は一切認めない。
11. 監督会議 監督会議は行わない。
12. 組合せ抽選 組合せ抽選は、県連盟役員並びに県審判部等立ち合いの上代理抽選を行う。出場チーム
決定後に所属支部より組み合わせ表を連絡します。
※代表チームは、競技者必携を熟読のうえ参加すること。
13. 開始式 「落合野球場」の第一試合に出場する 2 チームを対象に開始式を行う。
14. 表彰 優勝…賞状、優勝旗 準優勝…賞状
15. 参加料 1 チーム 25,000 円 (大会当日、試合会場の大会本部に納入こと)
16. 宿泊の斡旋 宿泊の斡旋は致しませんので、各チームで手配願います。
17. その他 (1) 出場チームは必ず背番号 (0 番から 99 番まで、監督 30 番・主将 10 番) および左袖
に県名を付けること (市町村名は不可)。なお、主将は「C マーク」をユニフォームシ
ャツの右袖または、前面に限り掲出できる。
(2) 本大会の優勝旗は、前年度優勝地区代表 (秋田支部) が責任を持って持参すること。
(3) 参加選手は、健康保険被保険者証またはこれに準ずるものを持参のこと。
(4) 捕手は、危険防止のため全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター
・レガースを着用のこと。

- (5) 打者・走者・次打者およびベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。
- (6) 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手はファールカップを着用すること。
- (7) 木製バット以外は、全日本軟式野球連盟公認バットであること。
- (8) 本大会は、指名打者制度を採用することができる。(競技者必携「指名打者の取り扱いについて」参照)
- (9) 得点差によるコールドゲームを採用する。(7回以降7点差)
- (10) 延長戦並びにタイブレーク方式の採用について。
9回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決定する。
延長戦の回数は12回までとする。試合開始後、3時間を経過した場合のみ新しい延長イニングに入らず、引き続きタイブレーク方式を行う。
- (11) チームの責任は、チームの代表者または責任者において負うものとする。
- (12) 優勝チーム・・・東日本大会 11月1日(木)～5日(月) 茨城県水戸市に推薦する。
準優勝チーム・・・東北大会 10月26日(土)～27日(日) 宮城県大崎市に推薦する。
- (13) 大会の問い合わせ
秋田県軟式野球連盟 理事長 相川義和 (090-7066-5430)
秋田県軟式野球連盟仙北支部 支部長 小松誠一 (090-2791-0679)